



TITLE:

定例研究報告会

AUTHOR(S):

伊東, 光晴; 野澤, 正徳; 上田, 健作

CITATION:

伊東, 光晴 ...[et al]. 定例研究報告会. 經濟論叢 1987, 139(2-3): 291-291

ISSUE DATE:

1987-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/134185>

RIGHT:

經濟論叢

第 139 卷 第 2・3 号

電電公社民有化会計の経済的帰結(1)……………醍 醐 聰	1
『資本論』第2巻第3篇「社会的総資本の 再生産と流通」における外国貿易捨象の 命題について(下)……………板 木 雅 彦	24
シスモンディ・ロマン主義の再検討(上)……………長 岡 延 孝	40
ソーシャル・ダンピング論議について……………奥 和 義	56
市場形態・生産形態と需要不確実性下の 企業行動モデル……………竹 治 康 公	75
金融リース会計の生成……………小 野 武 美	93

経済学会記事

昭和62年2・3月

京都大學經濟學會

記 事

定例研究報告会

1986年度第1回の定例研究報告会が、新入院生会員の歓迎会を兼ねて去る5月29日（木）午後1時30分より法経本館会議室において開催された。報告者は本学部助教授池尾和人氏と大学院生廣重準四郎氏であった。冒頭、池上学会評議員長より新入院生会員への歓迎の辞があり、二人の研究報告に入った。出席者は20名で、報告のあとそれぞれ活発な質疑応答が行われた。4時から懇親会に移り和気藹々のうちに閉会した。準備、運営に御尽力いただいた細川元雄・櫻田忠衛両助手に厚く御礼を申し上げる。

（研究集会委員 伊東光晴・野澤正徳、院生委員 上田健作）